

『社会を明るくするために』

小城市立岩松小学校 6年 牧瀬 尊郁

世の中には、犯罪を犯す人がいます。そして、犯罪には色々な種類があります。犯罪をしてしまうことはいけないけれど、その犯罪をしないようにするためには、どうすればいいかを考えてみました。ぼくの答えは、「犯罪をしないようにするためには、だれとでも仲良く接し、助けたり助けられたりすればいいのではないか。」というものです。犯罪をしてしまった人も、もしかしたらやってはいけないと分かっていたけれど生きていくためには仕方なくやってしまったのかもしれない。

ぼくの将来の夢は、医者になることです。理由は、ドラマやマンガを見て、とてもやりがいがある仕事だと思ったからです。犯罪を犯してしまった人も被害にあった人も自分の力で助けてあげたいと思います。もしできなくても、はげましてあげたいと思います。たとえ自分一人でできなかったとしても、色んな人と協力して解決の糸口を見つけるお手伝いをしたいと思います。ぼくは、お父さんの仕事の関係で、犯罪被害者支援フォーラムの話を聞きに行ったことがあります。むすめさんが、突然犯罪にまきこまれて亡くなられ、お母さんが感じた悲しみや怒り、裁判をする際の苦労などの話をされました。犯罪に巻き込まれると、その人だけではなく周りにいる色んな人々に悲しみや怒りなど負の感情が広がっていきます。

これらのことから、ぼくは、だれとでも仲良く平等に接したいと思います。困っている人やなやみをかかえている人を助けてあげたいです。少しでも犯罪をやってしまう人が少なくなればいいと思います。そして、犯罪をやる人が少なくなれば、被害にあう人も少なくなるので、そういう世の中になるように願っています。人がおだやかに平和にらせることで、社会が少しずつ明るくなっていくのではないかと思います。犯罪をやってしまった人は、もう二度と犯罪をやらないように、被害にあわれた方は二度と同じような被害にあわないような社会になれば、みんなが安心してらせると思います。今年ぼくは、子供自転車大会に出ました。この自転車大会を通じて、交通ルールを知ることができました。この体験を通じて学んだことを友達や周りの人に話したり、教えたりすることで、交通犯罪が少しでも減ればいいなあとと思います。他にも色々な経験をすることで、少しでも犯罪が減るように努力し合えたらいいなと思います。

少しずつ少しずつ、色々な人の思いやりによって、社会が少しでも明るくなるようにいのっています。